

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2022 年 第 2 週（1月10日~1月16日）

< 全数把握対象疾患の患者情報 >

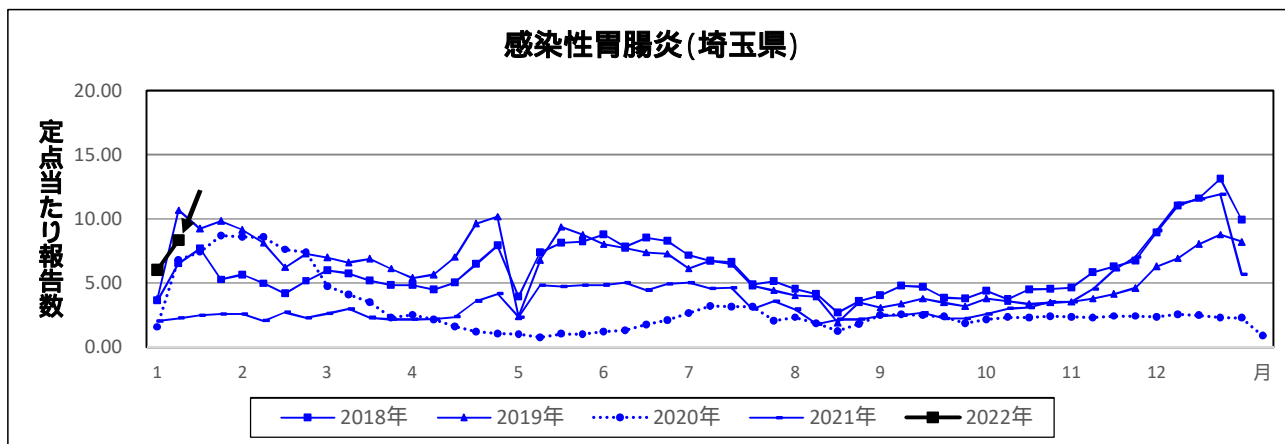
一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	
E 型肝炎	1 人 推定感染地域 不明
レジオネラ症	1 人 病型 肺炎型
五類感染症	
急性脳炎	1 人 病原体 リステリア
後天性免疫不全症候群	1 人 病型 AIDS
侵襲性肺炎球菌感染症	1 人
梅毒	4 人 病型 早期顕症 期 3 人、 無症状病原体保有者 1 人

新型コロナウイルス感染症については、県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>) 内の「陽性確認者」を参照してください。

< 定点把握対象疾患の患者情報 >

小児科及び内科定点把握対象疾患では、**感染性胃腸炎**(6.03 8.34:下図) の定点当たり報告数は、前週より増加した。保健所別では、春日部(22.83)、川口市(14.69)、さいたま市(12.56)保健所管内で多い。眼科定点報告疾患では、**流行性角結膜炎** 10 人の報告があった。基幹定点報告疾患の報告はなかった。



- この情報に関する御質問・御意見等ございましたら、衛生研究所 感染症疫学情報担当
TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613 e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp まで御連絡ください。
- 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/nid/ja/from-ids.html>) で御覧になれます。

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第2週)

(2022年1月18日 15:30集計)

	今週 届出	累 計	2021年 累計		今週 届出	累 計	2021年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ベスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核 * 1	-	-		鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス			2
細菌性赤痢				パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症			136				
四類感染症							
E型肝炎	1	1	36	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ*(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎			2	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			
黄熱				日本脳炎			
オウム病				ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサナル森林病				ブルセラ症			
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘				ポツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			2
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱				レジオネラ症	1	2	99
つつが虫病			3	レプトスピラ症			1
デング熱				ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢			20	侵襲性肺炎球菌感染症	1	2	57
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)			10	水痘(入院例に限る)			15
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		2	95	先天性風しん症候群			
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			1	梅毒	4	9	285
急性脳炎	1	1	20	播種性クリプトコックス症			10
クリプトスポリジウム症				破傷風			3
クロイツフェルト・ヤコブ病			4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		2	30	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			
後天性免疫不全症候群	1	1	28	百日咳		1	49
ジアルジア症			4	風しん			1
侵襲性インフルエンザ菌感染症			6	麻しん			1
侵襲性髄膜炎菌感染症				薬剤耐性アシネトバクター感染症			
新型インフルエンザ等感染症				新型コロナウイルス感染症 * 2			

累計は診断日で集計

* 1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

* 2 県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>)内の「陽性確認者」を参照してください。

結核届出状況(2021年12月分)

2021年12月の届出総数は、患者44人、無症状病原体保有者26人の計70人であった。前月と比べると患者数は減少し、無症状病原体保有者数は増加した。前年同月との比較においては患者数は同水準で、無症状病原体保有者数はわずかに増加した。

表1 診断月別の届出数の推移(2020年12月～2021年12月)

	2020年*		2021年												累計**
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
総計	68	50	61	75	83	62	67	69	57	73	69	69	70	805	
年齢階級															
10歳未満	2	1	0	0	4	2	1	0	1	4	0	1	3	17	
10歳代	0	1	0	1	2	1	1	0	2	3	0	2	0	13	
20歳代	11	1	9	13	9	7	6	6	7	5	10	4	3	80	
30歳代	4	3	3	3	6	3	3	3	5	3	3	1	6	42	
40歳代	6	4	9	4	4	5	6	7	7	3	8	4	9	70	
50歳代	7	4	3	10	8	9	6	11	6	11	10	18	8	104	
60歳代	11	8	6	8	9	6	14	4	1	9	7	7	7	86	
70歳代	9	13	18	16	16	16	11	15	9	14	12	16	16	172	
80歳以上	18	15	13	20	25	13	19	23	19	21	19	16	18	221	
性															
男	42	30	34	36	49	39	43	36	29	43	34	39	42	454	
女	26	20	27	39	34	23	24	33	28	30	35	30	28	351	
類型															
患者	45	34	45	61	54	46	47	50	42	51	45	52	44	571	
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
疑似症患者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無症状病原体保有者	23	16	16	14	29	15	20	19	15	22	24	17	26	233	
病型															
肺結核	38	22	27	49	38	25	34	37	32	38	34	36	29	401	
肺結核及びその他の結核	0	5	5	3	4	8	0	0	2	2	1	6	5	41	
その他の結核	7	7	13	9	12	14	13	13	8	11	10	10	10	130	
疑似症患者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無症状病原体保有者	23	16	16	14	29	15	20	19	15	22	24	17	26	233	

*:2020年の届出数は暫定値

** :2021年1月からの累積届出数

12月に診断された70人を病型別にみると、肺結核は20歳以上の年齢階級から計29人の報告があり、70歳以上が約半数を占めた。無症状病原体保有者は10歳代を除く年齢階級から報告があった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2021年12月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	29	5	10	0	26	70
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	3	3
10歳代	0	0	0	0	0	0
20歳代	1	0	0	0	2	3
30歳代	1	2	1	0	2	6
40歳代	5	0	0	0	4	9
50歳代	4	1	0	0	3	8
60歳代	3	1	2	0	1	7
70歳代	7	0	5	0	4	16
80歳以上	8	1	2	0	7	18

感染症発生動向調査週情報 報告患者数 年齢別 (2022年第2週 1月10日～1月16日)

	1月10日～1月16日																			
	合計	-6ヵ月-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ #1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
合計	5	1	1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	40	-	3	7	12	9	2	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	39	-	-	4	2	3	2	4	5	5	3	4	1	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,334	13	57	236	243	185	133	98	87	48	33	18	85	14	84	-	-	-	-	-
水痘	14	-	1	1	-	1	-	1	1	2	1	1	5	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	30	-	2	14	7	5	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	62	-	9	40	8	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	16	-	-	4	4	2	2	2	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	5	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	2	-	1	1	-	2
流行性角結膜炎	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~	-	-	-
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第51週 (12月20日～12月26日)

令和4年1月19日

<全国情報>

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第47週以降増加が続いている。都道府県別の上位2位は愛媛県(0.10)、京都府(0.08)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は3例と前週と比較して増加し、3府県から報告があった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(3.89)、沖縄県(3.41)、佐賀県(2.26)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.04)、山形県(0.83)、富山県(0.83)、宮崎県(0.78)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は長崎県(4.25)、沖縄県(3.94)、鳥取県(3.79)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は兵庫県(12.98)、奈良県(12.82)、熊本県(12.78)である。手足口病の定点当たり報告数は第47週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は島根県(6.13)、鹿児島県(5.52)、徳島県(2.96)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位2位は栃木県(0.08)、岩手県(0.05)、長崎県(0.05)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第47週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は富山県(1.90)、新潟県(0.96)、群馬県(0.83)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は奈良県(0.12)、石川県(0.07)、広島県(0.07)である。

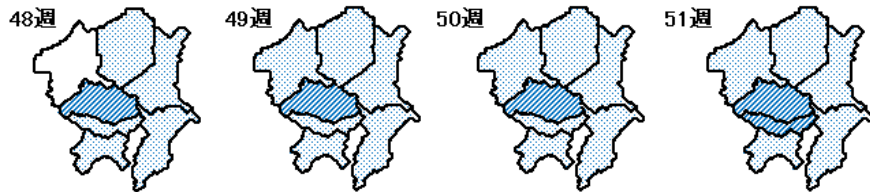
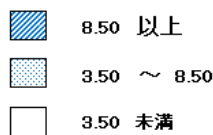
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福井県(0.33)、石川県(0.20)、青森県(0.17)、熊本県(0.07)から報告があった。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で減少した。群馬県から1例報告があり、年齢別では1～4歳であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan2021年第51週(12月20日～12月26日)、2021年第52週(12月27日～1月2日): 通巻第23巻第51・52合併号より

<関東情報>

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は埼玉県(11.43)、東京都(8.77)からの報告が多い。

感染性胃腸炎



2021年 51週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	49	5	-	-	-	1	2	1	1
	定点当たり	0.01	0.00	-	-	-	0.00	0.01	0.00	0.00
RSウイルス感染症	報告数	1,276	51	1	8	5	14	2	19	2
	定点当たり	0.40	0.05	0.01	0.17	0.09	0.09	0.02	0.07	0.01
咽頭結膜熱	報告数	999	195	14	-	14	62	24	52	29
	定点当たり	0.32	0.20	0.19	-	0.26	0.38	0.18	0.20	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	2,298	515	43	39	19	141	87	88	98
	定点当たり	0.73	0.54	0.57	0.81	0.35	0.87	0.67	0.34	0.44
感染性胃腸炎	報告数	24,558	7,338	351	193	357	1,863	832	2,272	1,470
	定点当たり	7.78	7.70	4.68	4.02	6.61	11.43	6.40	8.77	6.56
水痘	報告数	499	123	6	3	3	26	14	38	33
	定点当たり	0.16	0.13	0.08	0.06	0.06	0.16	0.11	0.15	0.15
手足口病	報告数	2,731	452	28	26	21	69	27	151	130
	定点当たり	0.87	0.47	0.37	0.54	0.39	0.42	0.21	0.58	0.58
伝染性紅斑	報告数	44	21	-	4	-	5	2	7	3
	定点当たり	0.01	0.02	-	0.08	-	0.03	0.02	0.03	0.01
突発性発しん	報告数	1,008	294	8	18	23	47	38	78	82
	定点当たり	0.32	0.31	0.11	0.38	0.43	0.29	0.29	0.30	0.37
ヘルパンギーナ	報告数	664	179	8	-	45	38	6	53	29
	定点当たり	0.21	0.19	0.11	-	0.83	0.23	0.05	0.20	0.13
流行性耳下腺炎	報告数	89	31	1	1	3	5	5	8	8
	定点当たり	0.03	0.03	0.01	0.02	0.06	0.03	0.04	0.03	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	3	2	-	-	-	1	-	-	1
	定点当たり	0.00	0.01	-	-	-	0.03	-	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	135	61	6	2	4	9	6	6	28
	定点当たり	0.20	0.31	0.35	0.17	0.27	0.23	0.19	0.17	0.57
細菌性髄膜炎 #2	報告数	9	2	-	1	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.02	0.02	-	0.14	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	2	1	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.00	0.01	-	-	-	-	-	-	0.09
マイコプラズマ肺炎	報告数	5	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	2	2	-	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.00	0.02	-	-	-	-	-	0.08	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	1	1	-	-	1	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	0.01	-	-	0.11	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

全国・関東情報

第52週 (12月27日～1月2日)

令和4年1月19日

<全国情報>

インフルエンザ: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は三重県(0.10)、大分県(0.07)、青森県(0.05)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は3例と前週と同値であり、3県から報告があった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.59)、長崎県(2.14)、鹿児島県(2.09)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山形県(0.62)、鹿児島県(0.57)、福井県(0.48)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(3.61)、鳥取県(2.26)、長崎県(1.91)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は熊本県(8.45)、大分県(6.61)、愛媛県(6.14)である。手足口病の定点当たり報告数は第47週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は島根県(3.91)、鹿児島県(2.89)、沖縄県(1.94)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は愛媛県(0.05)、福島県(0.04)、群馬県(0.04)、新潟県(0.04)、香川県(0.04)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第47週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は富山県(0.79)、新潟県(0.70)、福井県(0.35)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は徳島県(0.08)、山口県(0.07)、鹿児島県(0.06)、沖縄県(0.06)である。

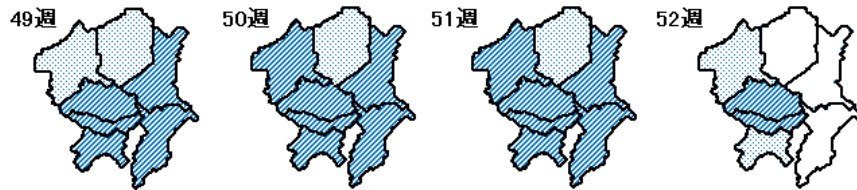
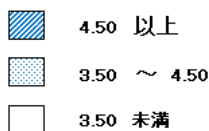
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では和歌山県(0.09)、新潟県(0.08)から報告があった。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。4県から4例報告があり、年齢別では1～4歳(2例)、10代(1例)、40代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan2021年第51週(12月20日～12月26日)、2021年第52週(12月27日～1月2日): 通巻第23巻第51・52合併号 より

<関東情報>

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、埼玉県(5.71)、東京都(4.60)からの報告が多い。

感染性胃腸炎



2021年 52週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	45	7	-	1	-	-	4	2	-
	定点当たり	0.01	0.00	-	0.01	-	-	0.02	0.01	-
RSウイルス感染症	報告数	990	37	2	2	5	7	8	12	1
	定点当たり	0.32	0.04	0.03	0.04	0.09	0.04	0.07	0.05	0.00
咽頭結膜熱	報告数	582	97	13	10	3	30	9	16	16
	定点当たり	0.19	0.11	0.17	0.21	0.06	0.19	0.08	0.06	0.08
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	1,147	201	38	14	7	29	31	42	40
	定点当たり	0.37	0.22	0.51	0.29	0.13	0.19	0.26	0.17	0.20
感染性胃腸炎	報告数	12,859	3,621	176	121	225	890	341	1,135	733
	定点当たり	4.14	4.02	2.35	2.52	4.17	5.71	2.91	4.60	3.59
水痘	報告数	296	58	9	3	3	14	5	11	13
	定点当たり	0.10	0.06	0.12	0.06	0.06	0.09	0.04	0.04	0.06
手足口病	報告数	1,440	211	17	21	9	24	16	57	67
	定点当たり	0.46	0.23	0.23	0.44	0.17	0.15	0.14	0.23	0.33
伝染性紅斑	報告数	22	6	1	-	2	-	-	1	2
	定点当たり	0.01	0.01	0.01	-	0.04	-	-	0.00	0.01
突発性発しん	報告数	568	132	8	15	6	22	12	41	28
	定点当たり	0.18	0.15	0.11	0.31	0.11	0.14	0.10	0.17	0.14
ヘルパンギーナ	報告数	311	73	4	1	17	7	1	33	10
	定点当たり	0.10	0.08	0.05	0.02	0.31	0.04	0.01	0.13	0.05
流行性耳下腺炎	報告数	50	11	2	-	1	1	1	4	2
	定点当たり	0.02	0.01	0.03	-	0.02	0.01	0.01	0.02	0.01
急性出血性結膜炎	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	67	20	2	1	4	-	4	1	8
	定点当たり	0.10	0.11	0.12	0.08	0.27	-	0.13	0.03	0.20
細菌性髄膜炎 #2	報告数	8	2	-	1	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.02	0.02	-	0.14	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

[トップページ](#) > [県政情報・統計](#) > [県概要](#) > [組織案内](#) > [保健医療部](#) > [保健医療部の地域機関](#) > [衛生研究所](#) > [感染症情報センター](#) > [感染症発生動向調査](#) > [感染症発生動向調査 2021年](#) > 感染症の流行状況 2022年 第2週

- 感染症発生動向調査 2021年**
- [感染症の流行状況 2021年 第1週](#)
 - [感染症の流行状況 2021年 第2週](#)
 - [感染症の流行状況 2021年 第3週](#)
 - [感染症の流行状況 2021年 第4週](#)
 - [感染症の流行状況 2021年 第5週](#)
 - [感染症の流行状況 2021年 第6週](#)
 - [感染症の流行状況 2021年 第7週](#)
 - [感染症の流行状況 2021年 第8週](#)
 - [感染症の流行状況 2021年 第9週](#)
 - [感染症の流行状況 2021年 第10週](#)
 - [感染症の流行状況 2021年 第11週](#)
 - [感染症の流行状況 2021年 第12週](#)
 - [感染症の流行状況 2021年 第13週](#)
 - [感染症の流行状況 2021年 第14週](#)
 - [感染症の流行状況 2021年 第15週](#)
 - [感染症の流行状況 2021年 第16週](#)
 - [感染症の流行状況 2021年 第17週](#)
 - [感染症の流行状況 2021年 第18週](#)
 - [感染症の流行状況 2021年 第19週](#)
 - [感染症の流行状況 2021年 第20週](#)
 - [感染症の流行状況 2021年 第21週](#)

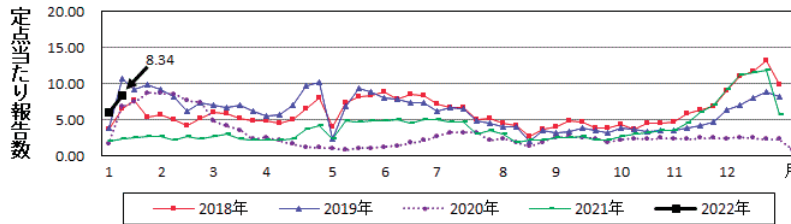
感染症の流行状況 2022年 第2週

2022年第2週（1月10日～1月16日）の要点 令和4年1月19日

[感染性胃腸炎](#)の定点当たり報告数は、前週より増加しました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [COVID-19\(新型コロナウイルス感染症\)に関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹及び風しんに関する情報の掲載ページへ](#)

感染性胃腸炎(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	↑	★	ヘルパンギーナ	↑	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	↑	★★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	→	★
手足口病	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

